

☆指導案の書式について

1 行目中央に記述
MS明朝 20 ポイント

社会科（〇〇的分野）学習指導案

2～5 行目右端に記述
MS明朝 10.5 ポイント

日 時 令和 8 年〇〇月〇〇日（〇）
学 級 〇〇市立〇〇中学校〇年〇組 計〇〇名
授業者 〇〇 〇〇

（1 行改行）

1. 単元（題材）名

2. 単元観

取り上げる単元の内容や意義、他単元との関連、単元（観）と生徒（観）との関連など、授業者の単元に対する考え方を記述する項目です。

3. 研究とのかかわり

単元や本時において、「社会的事象への関心を高め、見方・考え方を働かせ、自ら思考・判断・表現する授業」について、教師の思いや意図をできるだけ詳細に記載してください。

今年度の研究とのかかわりについて記述する項目です。「研究授業」を組み立てる上での中心的なポイントとなります。各項目について、授業者の考え（導入の工夫や、今年度は特に資料提示・活用の工夫等）について明確にまとめていただくと幸いです。

4. 単元の目標

単元全体の目標を 1～2 点に絞って簡潔に記述してください。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点ごとの目標を簡潔に記述してください。文末表現は、「～しようとする。」「～できるようになる。」「～について考えることができる。」など、生徒の視点で記述することが基本です。		

5. 単元の指導計画と評価規準

	単元を貫く学習課題 （キーワード）			
	学習課題内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1				
2 本時				
3				
4				← 斜線の例

「4. 単元の目標」の観点別単元目標との整合を図りながら、記述してください。

1 単位時間の中で、全観点を評価するのは現実的に困難ですので、1 つか 2 つに絞ってください。なお、その時間に評価しない観点の欄は、左上から右下へ斜線を引いてください。

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ①
- ②

「5. 単元の指導計画と評価規準」に則して、本時の学習活動の目標を具体的に示します。評価規準との整合を図りながら、記述してください。

(2) 本時の評価

① B規準

<指導の手立て>

「5. 単元の指導計画と評価規準」に明記した本時の評価規準をそのまま書くことになります。<指導の手立て>は、B規準に満たない生徒への手立てを、簡潔に記述してください。

② B規準

<指導の手立て>

(3) 本時の展開

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	学習評価
導入				
展開		学習課題（生徒に示す課題）を実線（太さ 1.5Pt）で囲んで書いてください。 （生徒の視点で書く） ※項目は、分けても構いません。 （例）展開① 課題解決 展開② 解決努力 など	（教師の視点で書く）	学習評価は、本時の目標や評価規準と対応させてください。 評価① 評価② という書き方で構いません。
終末				

「3. 研究とのかかわり」で記述した点を踏まえ、本時と「社会的事象への関心を高め、見方・考え方を働かせ、自ら思考・判断・表現する授業」との関わりについて明示してください。参観者が「ここがポイントだ」と一目でわかるように示していただけると大変助かります。

7. その他（配付資料や板書計画など）

※座席表の添付は不要です。

指導案は、A4で作成してください。